



4年 実川和代

五年生になったら

五年生になったら、どんなことをしよう。こんどあがってくる一年生のめんどうをみようか。

それとも、もっと勉強をがんばろうか。どちらがいいだろう。

やっぱり、一年生のめんどうをみてやって、それで、もっと勉強をがんばればいい。

はやく一年生があがってこないかな。そして、はやく五年生になりたいな。勉強がむずかしくても、がんばっていいこと。



4年 伊藤賢

風の色

北風は、どうしてなにも見えないのに、音をたてるのかな。南風は、どうして

なにも見えないのに、あたたかいのかな。もし風の色があったら、どんな色がいいだろうな。

北風は、赤、東風は、青、南風は、きいろ、西の風は、むらさき……

一つ一つの風の色が、あったらきれいだろうな。



4年 実川美千代

インテリアボックス作り

みんな、カッターで切っている。赤や黄色、青やむらさきになっていく。黒かった紙がだんだんと色ずいていく。わたしもまけずに作っている。

一人できあがった。一人できあがるとだんだんみんなまできあがっていく。

できあがりを楽しみだ。

シリーズ 25

我が家の家庭教育

五之神 伊橋洋子

我が家の家族は、私達夫婦と私の母、祖母、小学六年の長女、四年の長男、三年の次男の七人です。家庭教育はと尋ねられても、これと言えないものも無いのですが、三つ程、まとめて話してみたいと思います。

一つ目は、挨拶と返事がきちんと出来る子供であって欲しいと思います。挨拶は人付き合いの第一歩、大切な事

だと教えています。外ではどの程度出来ているのか解りませんが、家では、まずまず合格です。学校から帰ると、「ただいま」の大きな声。「おかえりなさい。」の声が届かないと、何度でも「ただいま」を繰り返すのでこっちは負けずに大声です。

二つ目は、自分の非を認められる子供であって欲しいと思います。三人の年齢がついてきているせいか、喧嘩は度たびです。あまりひどい時には、三人を正座させて並べ、お互いの言い分も聞きながらお説教をする事三十分、もっと長い事も時にはあります。その後で、「誰が悪かったのかな」と聞くと、三人が口ぐちに、私か、僕かと反省してくれます。それでも中なか反省しない時には、奥の手を使い、三人を蔵の中に入れ、誰が悪かったか良く話し合せて、解ったら大声で呼ぶ様に言って鍵を掛けてしまいます。すると、罪のなすり合いをしていた三人が泣きながら「私が、僕が悪かった」と謝ります。

すかさず「最初から、そういう気持ちがあれば喧嘩にはならないのね」と言い出してやります。すんなり謝ってくればこちらも内心ホッとするものの、いつまでも強情を張られる時は、私もそつと戸の陰に隠れ、涙を押さえて根比べです。

三つ目は、他人をいたわり、思いやりのある子供であって欲しいと思います。二年程前、娘の同級生の男の子が四人程遊びに来ていて、何時からか大喧嘩。一人の子を皆でからかったり砂を投げたりで、怒って泣き出すと、益ますエスカレ

ート。驚いたものの、子供の争いに入るべきかどうか迷ったのですが、フェアな喧嘩でなかったのを止めました。「男だったら正せい堂どう、やるなら一対一でやりなさい」等とう。私流のお説教で少しくどかったかとも思ったのですが、夕方、何事も無かった様に仲良く帰る子供達の後姿を見て、ああ良かったとホッとしました。

後で傍観していた娘にも、善悪の判断が出来たら、真の勇気を持つ様話しました。

マスコミで、いじめ問題が大きく取り上げられ、悲しいニュースに胸を傷む昨今です。

誰しもこの世に生を受けた以上、生きて行く権利と、生きる義務とがあるはずです。一度だけの人生、誰だって楽しく過ごした方がいいに決まっていますよね。そんな悔いの無い楽しい人生を送る為に、そんな人生を創造出来る心身共に健全な人間に成長出来る様、私達人間は、子供達を導いて行きたいものです。

ボーイズ・ピ・アンビシャス！ 少年よ大志を抱け あまりにも有名なクラーク博士の言葉……

小さな事より、大きな明るい未来に向かい、大志を抱いて生きて欲しいと願っています。

